



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月15日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松本 清一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 石川 大洋 TEL 03-3664-3980  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	15,448	2.1	383	△68.4	303	△73.4	313	△65.1
2025年3月期	15,128	17.0	1,216	8.1	1,139	0.8	896	15.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	14.51	—	2.4	1.2	2.5
2025年3月期	41.40	—	7.0	4.4	8.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	25,730	13,487	52.4	624.05
2025年3月期	26,871	13,106	48.8	608.38

(参考) 自己資本 2026年3月期 13,487百万円 2025年3月期 13,106百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,844	△1,008	△1,922	885
2025年3月期	2,143	△3,248	1,496	973

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00	193	21.7	1.5
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	216	68.9	1.6
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00	—	—	—

### 3. 2027年3月期の業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高	
	百万円	%
	16,000	3.6

利益につきましては、中東情勢が当社事業に与える影響を現時点で合理的に算定することが困難であるために未定とさせていただきますが、今後、適正かつ合理的な算定が可能になった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	21,974,000株	2025年3月期	21,974,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	360,354株	2025年3月期	431,105株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	21,587,750株	2025年3月期	21,656,965株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の堅調さを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、継続的な物価上昇が実質所得を押し下げ、個人消費の伸び悩みがみられたほか、米国の通商政策の影響や為替相場の変動が景気動向に大きな影響を与えています。さらに、本年2月末以降の中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰や供給網の混乱が、国民生活および経済活動全体の下押し要因となっており、先行きは依然として予断を許さない状況にあります。

化学工業におきましては、半導体関連材料等の需要が堅調に推移した一方、中国経済の停滞を背景とした汎用品の需給緩和が継続いたしました。加えて、原材料・エネルギー価格の高止まりや物流費・労務費等のコスト増が引き続き収益を圧迫いたしました。特に、地政学リスクの顕在化による原燃材料の調達遅延や入手量の不足が現実的な脅威となっており、市場環境をより一層注視する必要があると認識しております。

こうした状況下、当社は外部環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、サプライチェーンの強靱化と高付加価値分野へのシフトなどを推進いたしました。今後も、経営目標の達成に向けて、重要課題の解決と持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

当期の業績状況としましては、各製品の旺盛な需要に対応した結果、売上高は7期連続で過去最高となる前期比2.1%増の15,448百万円となりました。段階利益につきましては、2025年6月に竣工したアミノ酸関係設備の償却負担初年度となったことに加えて、化成品関係において一部電子材料向け製品の市場価格とシェアが急速に低下したことにより第4四半期の収益性が大きく悪化したことから、営業利益は前期比68.4%減の383百万円、経常利益は前期比73.4%減の303百万円、当期純利益は前期比65.1%減の313百万円となりました。

なお、当期取得したアミノ酸関係設備については、国庫補助金1,854百万円を受領し、圧縮記帳を実施いたしました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2025年3月期通期				2026年3月期通期			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	1,435	3,733	5,169	34.2	1,312	3,844	5,156	33.4
化成品関係	2,693	2,403	5,096	33.7	2,649	2,979	5,629	36.5
医薬品関係	3,463	1,399	4,862	32.1	3,467	1,194	4,661	30.1
合計	7,591	7,536	15,128	100.0	7,429	8,018	15,448	100.0
構成比(%)	50.2	49.8	100.0		48.1	51.9	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (アミノ酸関係)

医薬品用途などの販売が好調であったものの、食品添加物用途の販売が減少したことから、売上高は前年同期に比べほぼ横ばいの5,156百万円となりました。

## (化成品関係)

高分子材料やタイヤコード接着剤用原料の販売が好調であったことから、売上高は5,629百万円と、前年同期に比べ532百万円(10.5%)の増収となりました。

## (医薬品関係)

一部の原薬の販売が減少したことから、売上高は4,661百万円と、前年同期に比べ200百万円(4.1%)の減収となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

## (流動資産)

当事業年度末の流動資産は、前事業年度末から537百万円増加し、13,044百万円となりました。これは主に、販売目的である製品、その他の中の未収消費税の増加と、受取手形、売掛金の営業循環内における減少によるものであります。

(固定資産)

当事業年度末の固定資産は、前事業年度末から1,678百万円減少し、12,686百万円となりました。これは主に、工場設備の更新、新規増設による建物、保有株式の株価上昇に伴う投資有価証券の増加と、減価償却費による構築物、固定資産への振替による建設仮勘定の減少によるものであります。

(流動負債)

当事業年度末の流動負債は、前事業年度末から71百万円増加し、8,000百万円となりました。これは主に、長期借入金より振替えた1年内返済予定の長期借入金、売上取引による前受金の増加と、返済による短期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当事業年度末の固定負債は、前事業年度末から1,593百万円減少し、4,242百万円となりました。これは主に、返済による長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末から381百万円増加し、13,487百万円となりました。これは主に、当期純利益を計上したことによる繰越利益剰余金、保有株式の株価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は885百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は2,844百万円(前期は2,143百万円の増加)となりました。これは主に、税引前当期純利益361百万円、減価償却費1,238百万円、売上債権の減少444百万円による資金の増加と、棚卸資産の増加468百万円による資金の減少との差額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は1,008百万円(前期は3,248百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,109百万円との差額によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は1,922百万円(前期は1,496百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入金による収入900百万円と、短期借入金及び長期借入金の返済による支出2,529百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、中東情勢の緊迫化に伴う原燃料の価格高騰や調達環境の悪化、金利・為替相場の動向等、当社を取り巻く事業環境は依然として不透明な状況が続くとみております。

このような情勢下、当社の2027年3月期の業績見通しにつきましては、上述のような様々な懸念要因はあるものの、旺盛な需要を背景に、売上高は好調を維持するものと予想しております。しかしながら、利益面につきましては、一部電子材料向け製品の収益性が改善途上であることに加えて、中東情勢が当社事業に与える影響を現時点で合理的に算定することが困難であるため、各段階利益ともに未定とさせていただきます。なお、各段階利益につきましては、今後の動向を見極めながら、適正かつ合理的な算定が可能になった段階で、速やかに公表いたします。

当社は引き続き、徹底した原価低減、販売費及び一般管理費の削減のみならず、昨年度より着手しているサプライチェーンの強化を含めた抜本的な収益構造改革を確実に推進し、より一層の収益力向上を目指してまいります。

当社の2027年3月期の業績見通しにつきましては、以下のとおりであります。

売上高 16,000百万円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS(国際財務報告基準)導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	973	885
受取手形	49	—
電子記録債権	254	204
売掛金	3,474	3,129
製品	5,538	5,935
仕掛品	250	210
原材料	1,881	1,985
貯蔵品	3	11
前払費用	69	74
その他	9	606
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,506	13,044
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,301	7,029
減価償却累計額	△4,170	△4,322
建物（純額）	2,130	2,707
構築物	3,416	3,242
減価償却累計額	△2,142	△2,232
構築物（純額）	1,274	1,009
機械及び装置	20,845	21,460
減価償却累計額	△17,944	△18,510
機械及び装置（純額）	2,901	2,950
車両運搬具	73	77
減価償却累計額	△72	△71
車両運搬具（純額）	1	5
工具、器具及び備品	1,703	1,609
減価償却累計額	△1,491	△1,395
工具、器具及び備品（純額）	212	213
土地	3,110	3,110
リース資産	507	461
減価償却累計額	△359	△338
リース資産（純額）	148	122
建設仮勘定	2,203	29
有形固定資産合計	11,982	10,149

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>無形固定資産</b>		
特許権	0	—
借地権	21	21
ソフトウェア	13	11
リース資産	97	52
その他	3	3
無形固定資産合計	137	89
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,047	2,349
関係会社株式	89	89
出資金	0	0
従業員に対する長期貸付金	7	6
長期前払費用	25	0
繰延税金資産	29	—
その他	46	2
投資その他の資産合計	2,245	2,447
<b>固定資産合計</b>	<b>14,365</b>	<b>12,686</b>
<b>資産合計</b>	<b>26,871</b>	<b>25,730</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形	61	76
電子記録債務	349	468
買掛金	2,299	2,274
短期借入金	3,600	1,740
1年内返済予定の長期借入金	612	2,394
リース債務	94	83
未払金	253	270
未払費用	44	60
未払法人税等	153	8
前受金	11	145
預り金	13	13
賞与引当金	154	158
設備関係支払手形	20	31
設備関係電子記録債務	69	94
設備関係未払金	154	180
その他	34	1
流動負債合計	7,928	8,000
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,943	2,393
リース債務	169	104
繰延税金負債	—	46
再評価に係る繰延税金負債	618	618
退職給付引当金	1,089	1,065
資産除去債務	13	13
その他	1	1
固定負債合計	5,836	4,242
<b>負債合計</b>	<b>13,765</b>	<b>12,243</b>

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金		
資本準備金	3,250	3,250
資本剰余金合計	3,250	3,250
利益剰余金		
利益準備金	322	322
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	44	44
別途積立金	1,822	1,822
繰越利益剰余金	3,261	3,378
利益剰余金合計	5,449	5,566
自己株式	△124	△103
株主資本合計	12,046	12,184
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	909	1,152
繰延ヘッジ損益	0	—
土地再評価差額金	150	150
評価・換算差額等合計	1,059	1,303
純資産合計	13,106	13,487
負債純資産合計	26,871	25,730

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	15,128	15,448
売上原価		
製品期首棚卸高	4,530	5,538
当期製品製造原価	12,880	13,267
合計	17,411	18,805
他勘定振替高	51	42
製品期末棚卸高	5,538	5,935
売上原価合計	11,820	12,827
売上総利益	3,307	2,620
販売費及び一般管理費		
運搬費	245	243
役員報酬及び給料手当	464	520
賞与引当金繰入額	34	35
退職給付費用	18	16
減価償却費	76	72
研究開発費	555	618
その他	695	729
販売費及び一般管理費合計	2,091	2,236
営業利益	1,216	383
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	45	56
受取手数料	—	8
雑収入	20	17
営業外収益合計	66	82
営業外費用		
支払利息	75	143
為替差損	18	—
支払手数料	45	15
雑損失	4	3
営業外費用合計	143	162
経常利益	1,139	303
特別利益		
国庫補助金	—	1,854
受取保険金	65	—
子会社清算益	4	—
投資有価証券売却益	49	60
特別利益合計	118	1,915
特別損失		
固定資産除却損	132	47
固定資産圧縮損	—	1,809
特別損失合計	132	1,856
税引前当期純利益	1,124	361
法人税、住民税及び事業税	156	84
過年度法人税等	34	—
法人税等調整額	37	△36
法人税等合計	228	48
当期純利益	896	313

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	3,471	3,250	—	3,250
当期変動額				
税率変更による積立金の調整額				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分				
その他資本剰余金から利益剰余金への振替				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	3,471	3,250	—	3,250

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
		圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	322	44	1,822	2,538	4,727	△48	11,400
当期変動額							
税率変更による積立金の調整額		△0		0	—		—
剰余金の配当				△174	△174		△174
当期純利益				896	896		896
自己株式の取得						△75	△75
自己株式の処分							—
その他資本剰余金から利益剰余金への振替							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	△0	—	722	722	△75	646
当期末残高	322	44	1,822	3,261	5,449	△124	12,046

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	862	—	168	1,030	12,430
当期変動額					
税率変更による積立金の調整額					—
剰余金の配当					△174
当期純利益					896
自己株式の取得					△75
自己株式の処分					—
その他資本剰余金から利益剰余金への振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	47	0	△17	29	29
当期変動額合計	47	0	△17	29	675
当期末残高	909	0	150	1,059	13,106

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	3,471	3,250	—	3,250
当期変動額				
税率変更による積立金の調整額				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			△1	△1
その他資本剰余金から利益剰余金への振替			1	1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	3,471	3,250	—	3,250

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計			
		その他利益剰余金						
	圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	322	44	1,822	3,261	5,449	△124	12,046	
当期変動額								
税率変更による積立金の調整額					—		—	
剰余金の配当				△193	△193		△193	
当期純利益				313	313		313	
自己株式の取得						△0	△0	
自己株式の処分						20	18	
その他資本剰余金から利益剰余金への振替				△1	△1		—	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	117	117	20	138	
当期末残高	322	44	1,822	3,378	5,566	△103	12,184	

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	909	0	150	1,059	13,106
当期変動額					
税率変更による積立金の調整額					—
剰余金の配当					△193
当期純利益					313
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					18
その他資本剰余金から利益剰余金への振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	243	△0	—	243	243
当期変動額合計	243	△0	—	243	381
当期末残高	1,152	—	150	1,303	13,487

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,124	361
減価償却費	1,034	1,238
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△96	3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4	△24
固定資産除却損	132	47
固定資産圧縮損	—	1,809
投資有価証券売却損益 (△は益)	△49	△60
補助金収入	—	△1,854
受取保険金	△65	—
子会社清算損益 (△は益)	△4	—
受取利息及び受取配当金	△45	△56
支払利息	75	143
売上債権の増減額 (△は増加)	598	444
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△721	△468
仕入債務の増減額 (△は減少)	198	107
未払消費税等の増減額 (△は減少)	119	△580
その他	△29	179
小計	2,268	1,291
利息及び配当金の受取額	45	56
利息の支払額	△75	△130
補助金の受取額	—	1,854
保険金の受取額	65	—
法人税等の支払額	△161	△226
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,143	2,844
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	101	83
有形固定資産の取得による支出	△3,237	△1,109
固定資産の除却による支出	△105	△14
貸付金の回収による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	—	△7
その他	△9	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,248	△1,008

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△260	△1,860
長期借入れによる収入	2,550	900
長期借入金の返済による支出	△419	△669
リース債務の返済による支出	△125	△99
自己株式の取得による支出	△75	△0
配当金の支払額	△173	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,496	△1,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	385	△87
現金及び現金同等物の期首残高	588	973
現金及び現金同等物の期末残高	973	885

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	608.38円	624.05円
1株当たり当期純利益	41.40円	14.51円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益(百万円)	896	313
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	896	313
期中平均株式数(株)	21,656,965	21,587,750

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	13,106	13,487
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	13,106	13,487
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	21,542,895	21,613,646

(重要な後発事象)

該当事項はありません。